

21 移植医療・再生医療の世界的拠点となるナショナルセンターの誘致について

(文部科学省・厚生労働省)

多くの命を救う医療として、一定の臨床例を経て標準化されつつある「移植医療」、そして、体への負担が小さく、より安全性の高い医療として、また、次世代の成長産業の基盤技術として産業界からの期待も大きい「再生医療」は、科学技術創造立国を目指す我が国において、とりわけ重点的に国家戦略として研究開発を進め、世界をリードすべき分野です。

その拠点につきましては、移植医療、再生医療の研究開発における世界のリーディングセンターである京都大学、最先端の技術力で世界的に活躍する企業の集積などの優位性を有し、市政の重要政策として、ライフサイエンスの基礎研究から産業化まで一貫した集積を構築する「京都バイオシティ構想」(平成14年6月策定)を掲げる京都市が最適地であります。

つきましては、本市といたしまして、移植医療・再生医療の世界的拠点となるナショナルセンターの誘致に向け、産学公連携のもとに、最大限の条件整備に努めて参りますので、国におかれましても、次の事項について、格段の御配慮を要望します。

要望事項

国際競争力の一層の向上を目指す移植医療・再生医療に係るナショナルセンターの本市での整備に向けた調査・研究の推進

主な要望先：文部科学省（科学技術・学術政策局基盤政策課地域科学技術振興室，
研究振興局ライフサイエンス課）

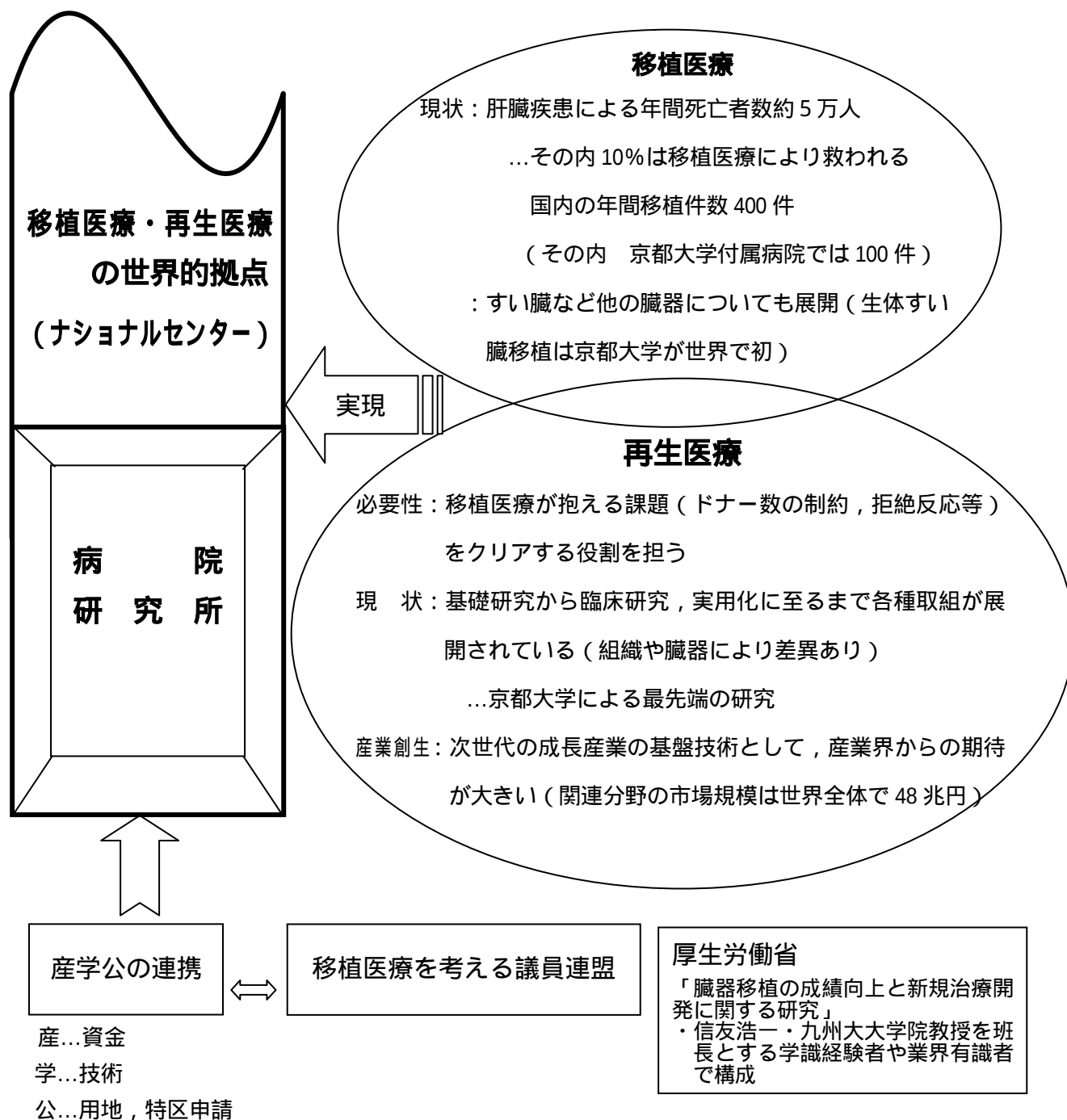
厚生労働省（大臣官房厚生科学課，健康局疾病対策課臓器移植対策室）

京都市の担当課：保健福祉局 保健衛生推進室 健康増進課長 西田哲郎 TEL 075-222-3419

産業観光局 商工部 産学連携推進課担当課長 北村康二 TEL 075-222-3434

< 京都市の取組・現状 >

移植医療・再生医療の世界的拠点となるナショナルセンター構想について



京都市である理由

- 最先端の技術力により京都を拠点に世界的に活躍する企業が存在
- 移植医療, 再生医療の研究開発における世界のリーディングセンターである京都大学
- 市政の重要政策として, ライフサイエンスの基礎研究から産業化まで一貫した集積を構築する「京都バイオシティ構想」を掲げる京都市